

■ 議題

今回の番組審議委員会は、8月7日（月）放送『ヒッツ・ヴォイス・オブ・ザ・コンパス』内のコーナー「教えて！三輪先生」、8月7日（月）放送『ヒッツ・サンセット・ヴォックス』内での「台風5号に関する情報について」、さらに7月27日（木）放送『ヒッツ・ヴォイス・オブ・ザ・コンパス』内のコーナー「名曲カバーコレクション」を聴いて審議に入った。

■ 審議内容

会社側： 審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対しての回答、報告、今後の放送予定、聴取した番組の補足などを説明した。

大萱委員長： 只今、聴取した内容についてでもよいし、普段聴いている放送についてでもよいので、順次、意見ををお願いしたい。

田中委員： まず報告にもあったが、8月11日・12日に私共で主催した「飛騨高山陣屋前 夜市（よいち）」のステージショーの音響をヒッツFMで担当していただき感謝している。このイベントの音響を初めて担当していただいたので、打ち合わせも何回かあり大変だったかと思うが、また来年もお願いしたい。

聴取内容についてだが「教えて！三輪先生」は、中小企業のお悩み相談ということで、ちょっと難しい内容なのかなと思ったが、たまたまメールを送ってきた方が内容が、そうだったのかもしれないけど、内容がとても分かりやすく、また三輪先生もコーディネーターというだけあって、説明が上手だと思った。例え話や具体的な話を入れて、人生哲学みたいな話をしているなと思った。

井谷ナビゲーターの「台風に関する情報について」では、車の水没の話をしてしたが、例えば高山だったらどの辺りで車が水没しやすいのかなど具体的な場所も教えてもらえると、ドライバーにとっては良いのかなと思った。また、「現在、台風が〇〇市付近にいて、何時に〇〇市付近にいるだろう」というような情報が流れたが、耳だけで聴いていると〇〇市だけでは何県なのか具体的にイメージが湧かないと思うので、何県の〇〇市という言い方に変えてもらおうと、より分かりやすいのではないかと思った。さらに、「次は、〇時に新しい情報が入ります」というようなことを言ってもらおうと聴いているほうは分かりやすいのかなと思った。

田中委員：「名曲カバーコレクション」は、番組の企画としては大変面白いと思った。世代を超えて、若い方とその親世代と一緒に聴けるので、面白いと感じた。ただ、その聴き比べる曲ができるだけ間を空けずに流したほうが、より比較ができるというか、聴いているほうも感じるものがあると思う。あまり間を空けないほうが感じるものが違うと思うからできるだけ間を空けずに曲を流したほうが良い気がした。

大萱委員長：（「台風に関する情報について」では）県の名前は言わず、市の名前しか言ってなかったようだが。

会社側： 県の名前は言ってなかったと思う。

大萱委員長： テレビではないので、やはりできるだけ具体的にお知らせいただくとありがたい。また、（「名曲カバーコレクション」で）間を空けずに曲を流したほうが良いというのも、実際そう思うが、ナビゲーターそれぞれの考えもあって、色々知っている情報を出したいという気持ちもあると思う。やはり前半・後半に切り分けてやったほうが良いと思うので、そのあたり考えて欲しい。

田口委員： 「教えて！三輪先生」について、私は田中委員の意見と反対で、三輪先生の話が一方的過ぎて難しいと感じた。悩み相談だったので、もう少しナビゲーターと掛け合いをしてもらったほうが、あまり知識が無い者にとっては優しいのかなと思った。

「台風に関する情報について」は、冠水した時の知識があまり無いため、やってはいけない事などを説明していて、すごくありがたい情報だと思った。また、先程の話にも出たが、台風の位置に関して「〇〇岬の南東〇キロ」などと言われても分かりづらいので、意見にもあったように、具体的な都市の名前を言ってもらおうとか、言葉で聴いて場所がふっと思い浮かぶような伝え方をしてもらおうと、あの辺りに台風が来ているのだなというのがイメージできると思った。

「名曲カバーコレクション」については、最初のほうの誰が歌っていて誰が曲を作っているという説明の部分が、少しテンポが悪かったというか、ナビゲーターが迷いながら話しているような感じがした。また、話しの間合いについても、「なんとかなんとか‘で’」や「なんとかなんとか‘を’」という関節の言葉が特に気になってしまい、そういうところをスラスラ言えたら頭に入りやすいのかなと思った

大萱委員長： 専門的なことだと、本人は知っていても周りの人は知らないということがたくさんあるので、ナビゲーターはそのあたりを噛み砕いて放送して欲しいと思う。

恐らく紹介している途中で資料がどこかへ行ってしまったのか、私も少しそう思った（＝少しテンポが悪かったというか、ナビゲーターが迷いながら話しているような感じがした）ので、準備をしっかりと滞りなくやって欲しいと思う。

川原委員： 「教えて！三輪先生」については、定年で起業したいという質問内容で、最初、私はあまり興味が無いと思ったが、三輪先生の話は、その定年で起業したいという人だけのためのアドバイスではなく、今後転職や就職したい人にも、自分の強みや個性を活かすといった様々な方にも興味を持ってもらえる話だったと思ったし、私自身も結構参考になった。

「台風に関する情報について」では、警報が出ていたことを繰り返して話していたところはすごく大事なことだと思うので良かった。その後の台風の動きで2通りの進路があるという話は、なぜそのように動くのかということまで説明していて、高山市に台風が来ることはあまり関係が無かったかもしれないが、日本アルプスがあるから動きが2通りあることが分かり情報としては面白いと思った。

「名曲カバーコレクション」は、（放送日翌日が）誕生日の「大滝詠一」について取り上げていたが、私は「大滝さん」がどのような方なのか知らず、少し説明はあったが最後まで「大滝さん」がどのような方なのかあまり伝わってこなかった。興味のある方にはすごく面白いコーナーだと思うが、私のようにその人を知らない世代だと内容が全く入らないと思った。

大萱委員長： 「大滝さん」を知らないということで、少しショックを受けたが、先程と一緒に、ナビゲーターは知っているだろうと思って説明をするが、リスナーの中には知らないことがある。もちろん説明には時間を取ってしまうことになるが、やはり知らない人がいるということを前提に話を進めてもらうことが大事だと思う。

下裏委員： 「教えて！三輪先生」は悩み相談だが、明るい音楽で始まり中身も本当に分かりやすく、相談者である男性以外の私たちも面白く聴くことができた。また、ナビゲーターの話しとかテンポも良かったと思うが、先程の意見にもあったように、ここにもう少しナビゲーターの思いが入れば、さらに良くなるのかなと思った。

下裏委員：「台風に関する情報について」は、聴いている方がどのような立場かをよく考えているなど思った。例えば、車に乗っている方が聴いていることを想定して、水が引いた後に車を取りに行かないとか、水深が何センチだと通行が危ないとか、そういった具体的な話が入っていてとても興味深く聴けた。また先程の意見にもあったが、台風の進路が二手に分かれるという話も、「そうなんだ。じゃあ次の進路をもう少し詳しく聴かなきゃ」と、次の情報を聴こうという思いも引き出しているような気がしてとても良かった。

「名曲カバーコレクション」は、（放送日翌日が）「大滝詠一」の誕生日とは言っても、なぜ‘夏’に「大滝さん」の代表曲である「‘冬’のリヴィエラ」を流すのだろうと思った。後まで聴くと「夏のリヴィエラ」という曲があると説明があり曲も流れたが、初めはなぜ「冬のリヴィエラ」を選んだかが分からなかった。また、「大滝詠一」さんの説明が少し長く曲の流れる時間が短いなど思ったが、番審の聴取時間の関係上、曲をカットしたということだったので、このコーナーを編集無しで聴けたら、興味深く楽しく聴けたのかなと思った。さらに「赤い？白い？CDジャケット」の説明もしていたが、映像が無いので分かりづらかった。

大萱委員長：本人が分かっている、やはり聴く人には想像しづらいこともあると思うので、気を付けて欲しい。

高木委員：「教えて！三輪先生」については、内容が「60歳過ぎに起業したい」と非常にアバウトな悩みだったが、細かくアドバイスをしていた印象がある。しかしその反面、回答が長過ぎるという印象も受けた。可能かどうか分からないが、相談者と実際に電話でやり取りできれば、悩みがより解決できるのかなと思った。もちろん時間的な制約もあるので難しいとは思いますが。

「台風に関する情報について」は、先程も意見にあったが、確かに今後の進路について言えば、どうしても映像を伴うテレビやインターネットの情報には勝てないが、日本アルプスを中心に進路が分かれることを一生懸命言葉で伝えていて、それを聴いているとなんとなくイメージできる非常に分かりやすい説明だった。

「名曲カバーコレクション」は、恐らくあまり他には無い企画だと思うので、なかなか面白いという印象があり、曲の説明もとても詳しくて「よくここまで調べたな」と感心した。好きな人には堪らないのだろうなというほど深い内容だったと思うが、逆にリスナーの中には早く曲を聴かせて欲しいという方もいると思うので、説明と曲のバランスがなかなか難しいと思う。企画としては非常に良いと思った

大萱委員長： 「名曲カバーコレクション」で流す曲は1曲だけなのか？それとも、1回の放送で何曲も流すのか？

会社側： コーナーの時間枠18分くらいの中で、オリジナル曲を1曲とカバー曲を1曲取り上げている。

大萱委員長： 意見を決して後ろ向きに捉えるのでは無く、面白い企画なのでこのような意見が出るのだから、コーナーがもっと良くなるようアドバイスがあったと理解していただきたい。

蒲生委員： 「教えて！三輪先生」のコーナーは、三輪先生の説明は実にわかりやすく良かったが、やはり少し説明が長過ぎる気がした。ナビゲーターもいるので二人のやりとりを交えながら進めると良かったと思う。

「台風に関する情報について」は、冠水の話など非常に分かりやすかった。また、台風の進路が二つに分かれる話は、初めて聴いた内容だったので大変興味深く聴けた。しかし、進路が二つに分かれると言いながらも「美濃加茂市上空」など、ごくピンポイントで説明していて、そこは少し矛盾しているのかなと思った。必ずしも台風は「美濃加茂市上空」に来るわけではなく、もう少しアバウトだと思うので、例えば「岐阜県南部」や「岐阜県中部」くらいの説明でよかったのではないかという気がした。

「名曲カバーコレクション」は、私は「大滝詠一」をよく知っているが先程の意見と同じで、比較する曲をすぐに聴かせたほうが良かったと思った。また、細かい情報やマニアックな説明があり、聴いている途中で何のことを言っているのか分からなくなった。特にラジオは、聴いていて分からなくなっても話が進んでいってしまい、結果、話が全部分からなくなってしまうことがあるので、少しマニアックすぎる説明だったのかなと感じた。このコーナーの趣旨は、‘原曲の素晴らしさと比較してアレンジの面白さを伝える’ということだそうなので、そのような説明が聴取の中でカットされていたのかもしれないが、曲の比較の説明がもう少しあると良いと思った。

大萱委員長： 「できるだけ伝えたい」という気持ちはよく分かるし、私もヒットFMで番組をしているから、どこまでどうすればいいかなというのは考える。聴いている方にもできるだけ映像として想像できるように説明をしないと、途中で分からなくなってしまうということは私も感じる。できるだけ情報はたくさん出したいと思うが、少し精査したほうが良いのだろうと思う。

大萱委員長： マニアックな説明は、特に映像があるのと無いのとではかなり違ってくるので、言葉だけで伝えるというのは本当に難しいことだと思う。しかしそこから逃げないで欲しいし、いろいろなことを考えてやって欲しいと思う。

原委員： 「教えて！三輪先生」については、進行役の遠藤ナビゲーターがベテランということもあり、「え～」、「あ～」、「う～ん」などの合いの手が上手で、そのような言葉がたくさん間に入っていて良かった。先生の話は本当に聴きやすいのだが、一方的な話が続き先生の話が長く感じる時があったので、先程の意見と同じで、ところどころで遠藤ナビゲーターが少し投げかけるなど、対話的なところもあると聴きやすかったのかなと思う。

「台風に関する情報について」は、井谷ナビゲーターもやはりベテランなので話が上手いし、先程の意見にもあったように、車の水没に関する話などは有益な話なので、聴いた後もそのことを思い出すと思う。また、水没しそうな場所で思い浮かべるのは「アンダーパス」になるが、もちろんいろいろな地域について紹介するのも必要だが、アンダーパスは（水没に関して言えば）完璧に注意喚起をしてもいい場所なので「アンダーパスを通る際は気を付けたほうがよいですね」などの一言があると、より気を付けることができるのかなと思った。

「台風の情報」の中で、「五條市」と紹介していたが、「五條市」を私は知っているけれど、たぶん皆さんは知らないと思う。「美濃加茂市」は岐阜県なのでみなさん知っているかもしれないが、ただ「美濃加茂市」と紹介するのではなく、先程の意見のように、例えば「岐阜県の中部・美濃加茂市の近辺」と紹介するとか、長野県の「飯田」なら「長野県の南部」と付け加えるとか、新潟県でも「長岡市」は、真ん中あたりなので「新潟県の中部とか北部」とか、ラジオなのでもう少し説明を付け加えるとより分かりやすいのかなと思った。

田中ナビゲーターの「名曲カバーコレクション」は、私は「大滝詠一」を懐かしく聴いていたのだが、やはり皆さんの意見と同じで、曲と曲の間を早めにしたほうが曲の違いが分かりやすいと思った。さらに、聴いた後にアレンジの面白さや違いなどを説明すれば、より比較しやすかったのではないかと思う。

原委員：大萱委員長が先程も言ったように、ラジオは耳からの情報を頭の中で想像して映像化しながら聴いているわけだが、ラジオだけに集中しているのではなくて、何かをしながら聴いていることが多いと思う。車を運転しながらだとか、仕事をしながら聴いていることが多いと思うが、メリハリが無いと理解するにはなかなか難しいと思うし、映像のあるテレビなどとは違って、ラジオは言葉だけでより分かりやすく伝えなければいけないと思う。非常に難しいことだと思うが、ちょっとしたところで少し説明を加えて話をしてもらうとよいのかなと思った。

大萱委員長：これからも台風が来ると思う。要は、台風情報をどこから取っているのかということで、気象庁の画面から取っているのはよいのだが、それが文字情報のみだと、市名が書いてあってもナビゲーター本人が日本地図上の市名まで把握していないと、県の名前や位置などは言えないと思う。情報はどこから取っているのか？

会社側：ウェザーニューズ（気象情報会社）から情報を取っている。しかし、県名までは書いてないと思う。

大萱委員長：そうだとすると横に日本地図を置いておかないといけないと思う。委員の皆さんの意見にあったようにしっかり説明をしようとする、横に日本地図を置いておき、〇〇市は〇〇県にあって、〇〇県なら〇〇の北側だとか、西側だなどいうのを確認しないと、これまでと同じようにしては難しいのかなという気がする。現場としてはどうなのか？

会社側：その通りだ。

大萱委員長：台風情報はまだやったことがないのか？

会社側：私（ナビゲーター）は朝の番組を担当しているのだが、台風の動きというよりは、市内の交通機関の乱れとか、そちらを主に紹介していた。

大萱委員長：台風の全体的な動きを伝えるということになると、なかなかテレビにはかなわないと思う。ラジオでは天気図が出せない、日本地図を横に置くぐらいのことをしないと、皆さんから指摘いただいたことは、たぶんでき

ない気がする。また検討して欲しいと思う。

大変貴重な意見をたくさんいただいたが、今、聴取した番組以外でも何かあればお願いしたい。

原委員：ヒッツFMのステッカー（20周年記念の新ステッカー）をいただいた。何年前から「ステッカー作って欲しい」と言っていた手前、本当にありがたい。8月1日にあった本町のイベントで、ヒッツFMが会場内にサテライトスタジオを設置し生放送していた時にステッカーを配っていて、私もその時に何枚かもらい知り合いに配った。こういう物は有益に使えばいいと思うが、ステッカーは何枚作ったのか？

会社側：2種類を1,000枚ずつ作った。

大萱委員長：これからステッカーどのように配るのか？

会社側：「20周年」と描かれているステッカーは、年内か年明けくらいまで、遅くとも20周年の期間中に配りたいと思っている。もう1枚のほうは、通常のステッカーなので、状況をみながら配ろうと思う。ガソリンスタンドなどに置かせてもらうことも考えている。

原委員：車などに貼ってもらえるように、車が通るようなところで配ったり、リスナープレゼントとして配って欲しいと思う。

大萱委員長：他に何か意見はないか。

先程の自身の挨拶でJアラートについて述べたが、私が気付いたのは、テレビもラジオと同じ状態になるということ。どのテレビ局も、画面に出ている文字がまったく同じで、全く動かない。途中からフジ系がバックに出していたが、ほとんどが黒かった。ただ、特に民放が行っていたのは、同じことを繰り返し言うということ。同じことをずっと絶え間なく言っていたが、何が違ったのかというと、アナウンサーを男性・女性・男性・女性と1回1回替えていた。多いところでは、男性・女性・違う男性・女性というように、声でだいたい分かるのだけれど、アナウンサーを結構替えて情報を伝えていた。そうすると同じこと言われても耳に入ってくる。同じ方が同じことをしゃべっているだけでは、もしかしたら飽きてしまうと思う。

これ（男性・女性・違う男性・女性）「をヒッツFMに求めているわけではないが、ただ、このような緊急の場合、なるほどテレビも考えているのだなと思った。声が変わることで同じことを言っても、情報の伝わり方が違うのだなということを感じた。もし今後何かあった時に、男

性も女性もいて、さらに女性二人も声質が違えば良いと思うが、そういうことがもしできるのであれば、そのほうが情報として人の耳の中に入って来るような気がした。

会社側：Jアラートと言えば、今度の9月3日の総合防災訓練の時に、ダイレクトに高山市から防災ラジオに（訓練放送が）入ってくることになっている。詳細が詳しくは言えないが、そういう訓練がある。

大萱委員長：その時にヒッツFMは何かするのか？

会社側：これまでの経験だと8時にJアラートが流れて、その後に何度か、番組の中でも紹介するし、防災ラジオを自動起動して「高山市内で震度いくつの地震が発生したので避難して下さい」と放送し、続けて「これは訓練です」とアナウンスする予定だ。

大萱委員長：それは1人で放送するのか？

会社側：1人で放送する。

大萱委員長：他に意見はないか。局側からは何かないか？

会社側：9月から恒例の「街並みコンサート」が始まるので、またその関係者にもゲスト主演してもらい、広く街並みコンサートのPRをしてもらおうつもりだ。
他にも開局20周年の企画・イベントを細々ではあるが、お金をかけずに、なるべく色々なところで行うことなどを考えている。

大萱委員長：1年を前半・中間・後半に分けると、既に後半ということになるが、10月の番組改編はどのようになっているのか？

会社側：まだ決定していない部分があるので、途中経過ということになるが、現在1人が研修中だ。何とか10月の改編に間に合うよう頑張っている。時期的には遅いので、早急に進めていきたい。

大萱委員長：それは女性なのか？

会社側：女性だ。

大萱委員長：亀山ナビゲーターは降板ということだが、辞めたのか？

会社側：降板だが、本人はまた春頃の復帰を望んでいる。

大萱委員長：他に意見が無ければ閉会する。

会社側：本日は貴重な意見を頂き感謝している。ますます番組に反映したいと思う

■ 審議機関の答申又は、意見の概要を公表した場合における公表内容、方法年月日

8月29日 番組審議委員会の席上で説明

■ その他の参考事項

次回開催日 平成29年10月下旬

開催場所 飛騨地域地場産業振興センター（予定）